

2 個別事業評価調書

団体名:伊根町

事業名		伊根浦観光PR事業					
事業の概要		伊根町の観光客の入込状況は平成5年のNHK連続ドラマ「ええにょぼ」の放映で38万まで伸びたもののその後は入込客数は25万人前後である。舞台となった舟屋は全国的にも珍しい景観であるが、船の大型化に伴い船のガレージとしては機能しなくなり、個々の改修によりコンクリートで埋められるなど、一連の景観が崩れつつあったが、舟屋群の景観保存に取組み、平成17年には国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。伊根浦舟屋群を観光資源として有効に活用し誘客を図るため、事業を実施する。					
		事業期間	平成19年度～21年度				
		総事業費	2,794	本年度事業費	2,794	交付金交付額	1,508
事業評価	事業の必要性	国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されたが、舟屋の知名度はそれほど高く無い。ポスターの掲出や、イベントの実施を通じたPR、写真コンテストの実施や入賞作品を活用した宣伝により知名度のUPを図り、誘客に結び付ける必要がある。					
	事業の有効性	観光PR効果により知名度のUPと交流人口が増えることで地域経済の活性化が図れた。地域の舟屋群に対する意識の高揚が図れた。					
	事業の効率性	伊根浦舟屋群を中心にした施策を重点的に実施することで効果的なPRとなった。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果 丹後広域観光キャンペーン協議会等広域組織の観光キャラバンにPRポスター、観光パンフレットを使用した。					
		2 住民の自治意識を高める成果 伊根町の認知度を上げることにより、地域住民の舟屋保存やまちづくりの意識の高揚を図った。地域の協力を得て、舟屋群に一斉に提灯を点灯し舟屋をライトアップするなど、地域全体で取り組みを実施し、舟屋保存やまちづくりに対する意識の高揚に寄与した。意識の高揚により、町内において舟屋や景観を利用した起業が行われるなど地域力の活性化が図れた。					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果 写真コンテストの入賞作品を利用し観光PRを行うことができた。 伊根独自の「舟屋」が建ち並ぶ「伊根浦伝統的建造物群保存地区」の地域内でイベントを実施し、重伝建指定を広くPRすることができた。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。